

説明先：市内団体

開催日時：令和元年5月9日（木）13時30分～15時30分

説明会場：総合福祉センター

出席者：13名

Q1. 商店街振興組合で所有している金市館ビル跡地について、解体時に市から補助金を出しているが、土地の取得は問題ないか？または賃貸とするのか？買い取る場合、解体した時の評価額と現在の評価額と差額が生じている。

- 金市館ビルの解体補助の経過については、ラルスは平成21年5月に営業活動が閉鎖された。市としても街の真ん中の商業施設が無くなるということで、非常に危機感を持っており、建物を使って経済活動できる企業体の誘致や情報収集をかなり行ってきた。建物所有者は(株)金市館であり、(株)金市館も入居する企業体を探したが、結果的に見つからなかった。
- (株)金市館としても空き家にしておくと建物が傷むことから定期的なメンテナンスを行っていたが、平成25年12月にはメンテナンスも停止した。このままでは廃墟になってしまうということで、市としても何か財源を見つけて市が撤去せざるを得ないという考え方を持っていた。
- その時に経産省のまちづくり補助金制度が時限的に建物解体費用も対象となった。しかし、商店街が事業主体にならなければなかった条件だったため、振興組合が手続費用を負担して所有権を取得し、取得解体費用を国と網走市の補助金を充てることとした。
- 建物解体費用については、全体解体経費で2億7千万程度であり、このうち経産省補助が、1億5千万程度、市の補助金が1億1千万程度、残りが振興組合です。土地の取得費については、網走市からの全額補助となっている。
- 市では、金市館ビル跡地を現在と同様の駐車場やイベント広場として使用し、南5条通りは用途廃止として、5条側駐車場の市有地に庁舎を建設してはどうかという考え方。また、現在の庁舎跡地を公用車置き場として利用していこうと考えている。
- 市が金市館ビル跡地を買うのか？借りるのか？は決まっていないが、市が取得解体時に補助金を出していることから、この土地の利用についてのハードルは高くないと考えている。
- 中央商店街振興組合が所有する土地の利用については、建設候補地が決まってからの議論となる。
- 土地の評価額の変化について、H13年が㎡単価160,000円、解体時のH27年が36,500円、H31年は、29,500円となっており、価格は下がっている状況である。

Q2. 四条通りの空き店舗シャッター街をどのように活性化させていくのか？地権者は複雑で、買収も難しいと聞いている。そのような状況で庁舎を建設するのが良いのか？人も減って過疎化が進んでいる。潮見、駒場、つくしなどは人口密度が高い。

- 夜間人口は、潮見や駒場などの上エリアに多いことは間違いない。
- 市役所が開庁している時間帯の15歳以上の昼間人口を上・下エリアで比較すると、ほぼ同数だが、上エリアが11,267人で、下エリアの10,312人を約千人上回る。これを従業員数でみると、上エリアが3,647人で、下エリアが7,367人で、7割弱の人が下エリアにいたことがわかる。
- 一方、夜間の労働力人口は、上エリアが9,039人で、下エリアが4,214人となり、昼間の人の流れは、上エリアから下エリアに流れていることがわかる。このようなことも含めて総合的に検討している。
- 中心市街地ですでに形成されている民間施設を含む都市拠点としての機能を全て移転することは、不可能であると考えている。

Q3. 五つの候補地があったが、全て現状で評価されていると理解している。例えば交通体系で道路が狭い、交通手段が少ないとか、「ここに建設されるところなのだよ」という将来も見据えた視点も持たないといけないと思うがいかがか？もう少し高台地区のことも考えていかないと、最初から除外されている感じがする。候補地は全市の事を考えて、もう少し慎重に考えるべきではないかと思うがいかがか？

- 高台地区も含めた建設候補地の考え方について、上位計画との関係性など説明させていただいた。庁舎が建設されれば色々な周辺環境が変わると思われ、どのように変化するかということは、一つの要素と思うが、一番の問題は交通の問題であると考えている。市内の公共交通路線などがこのままで良いのかということがあって、公共交通の新たな計画を2年間で取り組むこととしている。
- 高台地区に建設した時に本当に公共交通路線を変化させられるのか、公共交通がついてこれるのか、ドライバー不足も課題となっており、公共交通が成り立たない中で新たに路線を作る、道路を広げて新たな街並みをつくるということは、行政としては今後持続できないという考え。

Q4. 街の再生化はどのように考えるか？あそこに建て、何年か経って周りはシャッター街で建物も壊れそうな建物ばかり、それをどういう風に考えているのか？それと、津波の話したが、例えば海岸町地区の方などが、橋を渡って高層の庁舎に来た時にどの位の人を受け入れることができるのか？そこが全く見えない。どの程度の建物が建つか分からないと答えられないと思うが、災害時にどうするのか考えていかないと。自然災害はいつ起こるか分からないし、道のハザードマップを基に考えていますので大丈夫ですよと、私は信用できないと思っている。

3.11 で想定を超える津波もあったし、それよりも寂れていく商店街に建設して本当に良いのですか？別な方法でもっと取り組んでいかないと。観光客が庁舎に行きました、周りはシャッター街です。これは違うのではないかと思う。

- ご指摘は受け止める。事業継承される方がいなくて辞めざるを得ないというところもあるが、空き店舗については、市の助成制度を活用して飲食店の出店などに繋がっている。
- 20年、30年くらい前に市から商店街に複合的施設を作れないか？と話しかけた経過もあるが、実現しなかったという経過がある。
- 2月に市の候補地は金市舘ビル跡地周辺敷地と示したことで、空き店舗を活用したいという話も動いている。庁舎建設が起爆剤となって話が進んできているのではないかと考えている。
- このエリアで「ホテルの建設などをしてみたい」などの話も出ており、可能性が無い訳ではないと考えている。

Q5. どこに作る、何をするというのは、サービス事業ではないのだから、あくまでも市民の利便性を考えれば良いことであって、別に四条商店街だとかホテルだとか出てくることがおかしい。

今、網走の観光客の入込はどの位であるのか？網走は官公庁の街で出張で泊まる業者を含めて多かった。残念ながら開発局、裁判所など縮小されてきて宿泊客も減ってきている。観光客も網走に泊まってというのも20年前位から減ってきているという実情がある。

私は金市舘ビル跡地が良い悪いではなくて、いかに市民が納得して、経費の面も出てくるが、その中でどう建設することができるのか。どう市民の方が利用しやすいか。そこを市民の皆さんに説明していかなければならないと思っている。

例えば潮見の市営住宅跡地、除雪センター跡地だとどれ位で建てられるのか？という一つの試算をした上で市民に説明していけば良いと思うし、四条に建てたら商店街を救済できるとかは関係ない。

新しいホテルが建ってきているが、これは元々あった地元ホテルが無くなってきているから大手が建っているだけ。網走市民が商店街振興組合に反感を持っているのは、金市舘を建てる時に大反対したのは誰だということ。ところが出ていくとなると「出て行かないでくれ」と。

どこに建てようと良いのです。与えられた経費と利便性だけ示していただければ。建設位置は二転三転してもらいたくないし、ましてや限られた期間と限られた財源でやるのは重々承知ですので、決まったら一気に行って頂きたい。だからそこを市民に慎重に説明していただきたい。

駒場地区のアルサキットが出来た時も、「あそこにできてもテナントなんか入らない」と言っていた人がいたが、蓋を開ければ、バスまで通るようなエリアになっていて、空き店舗は1店舗のみ。

斜網地区の方が買い物に行く。網走の人は北見に買い物に行く、北見の人は旭川に買い物に行く、人の流れはそのような形になっている。地元の人が地元で買い物するかということそうでもないので、そこも踏まえながら庁舎の場所を考えた方が良いので、あまり商店街のことは言わない方が良いと思う。

- 市民の利便性を一番に考える。
- また、策定済みの上位計画や都市計画マスタープランを考慮しないことは、整合性が図られないことと考える。
- 今後、説明会や意見交換会を町内会単位等で開催して市の考え方を説明する。
- また、検討委員会では、各団体 20 名と市民公募 5 名で構成され、建設位置も含めて検討委員会の中で議論する。まずは、網走市としては「金市館ビル跡地周辺敷地が適地」だと判断したので、そこを少しでも多くの方に説明したいと考えている。

**Q6. 税務署や警察の建替えて総合庁舎を建てるなどの情報は整理できているのか？
国と道と市との総合庁舎建設を考えていなかったのか？**

- 合同庁舎は、旧第二中学校跡地の活用の際に大きく動いた経過があったが、最終的に釧路で建てて止まったという経過があった。警察は派出の移動等の際に、縮小傾向であると聞いていたが、今の建物を今後どうしたいとか具体的な話は聞いていない。他の市町村では「土地を市で用意するから建てて下さい」という事例はあると聞いている。

Q7. 近隣自治体のようになって欲しくない。あっちで意見を聞いて、こっちで意見を聞いて、そのたびに意見が変わっていく。説明会をたくさん開催して、例えば町連は反対したけど、商店街や建設業界がやって欲しいとなった時に最終的にどこになるのか？と思う。意見を聞くだけなら分かるが・・・。

- 最終的には市庁舎の位置を定める条例が必要になるため、議会で反対されると白紙に戻ることになる。
- 2/17の懇談会の時に、「金市館ビル解体で跡地建設ありきであったのでは？」、「どれ位の方を津波で避難させられるのか」、「現庁舎跡地では、何故だめなのか？」などのご意見を頂いた経過もあり、市はご意見に対する考え方を説明していきたい。
- ご意見の中には、その場所が良いとか、津波を考えると高台地区が良いなど色々あると思うが、最終的には、検討委員会による結論を待って、市が判断をしなければならないと考えている。

Q8. 少子高齢化で将来的に 3 万人を切ることを考えると、市議会は 30 人規模で建設されているし、そこを考えるとかなり縮小できると思うがいかがか？

- ご意見のとおり、人口はこれから減少していくため、職員数も今のままとは考えていない。どの位の人数で効率的に仕事ができるのか、事務機の配置などについても工夫して、コンパクトになるよう検討していきたいと考えている。

- 議場は建設当時の議員数に基づいて作られているので、どの程度の面積が必要なのかなど検討する。

(ご意見) 昨年、議会でJRの問題と庁舎の建設について、ワークショップを開催して私も出席したが、参加した方に市役所に行く用事が年何回あるか聞いたところ、年1・2回しかないという方がほとんどであった。説明の中で交通の便とあったが、それほど気にして考えることはないと思う。ワークショップで確認されているから。交通の便が良いから行くのではなくて、用事があるから行くのであってそういうことも参考にして欲しいと思っている。

- 都市マスタープラン策定の時にパーソントリップを確認すると、人の動きが一番多いエリアは、駒場、潮見からバスに乗って厚生病院までの移動である。
- 市役所に来庁されるのは年齢層によっても違うが、ご意見を参考に検討委員会の中で議論する。